

令和元年度

福岡市公共事業再評価等監視委員会

《 議 事 要 旨 》

【事後評価 9件】

【道路下水道局】

- | | |
|---------------------------------------|------|
| ① 福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現 | 事後評価 |
| ② 福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現（防災・安全） | 事後評価 |
| ③ 福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現（防災・安全）（重点計画） | 事後評価 |
| ④ 福岡市における良好な水環境の創造 | 事後評価 |

【住宅都市局】

- | | |
|--------------------------|------|
| ⑤ 風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡 | 事後評価 |
| ⑥ 国家的事業関連公園の整備 | 事後評価 |
| ⑦ 観光振興拠点公園の整備 | 事後評価 |
| ⑧ 安全・安心を支える緑づくり（防災・安全） | 事後評価 |
| ⑨ 福岡市公園施設の長寿命化の推進（防災・安全） | 事後評価 |

令和元年度 事後評価対象事業

① 福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現

<事後評価に関すること>

(委員)

○ 指標の目標値について、どのような考えで設定しているのか補足で説明をしてほしい。

(道路下水道局)

● 指標①「下水道処理人口普及率」については、未水洗化箇所があるが、地形的な条件等によるものであり、これらの整備を計画期間の5年間で完了させることは難しいと判断し、整備可能な目標値を設定した。なお、本市における汚水処理は下水道以外にも集落排水や個別処理である浄化槽があり、99.9%を超える値となっている。

(委員)

○ 市街地などは整備済みで、山奥などの一部の地域において未整備の箇所があるということか。

(道路下水道局)

● その通りである。

また、指標②「合流式下水道改善率」については、博多駅地区や天神周辺地区で事業を計画的に実施しているが、都心部での工事であることから、事業の進捗に遅れが生じ、目標を達成することが出来なかったため、今後は、事業の進捗管理を強化していく。

<事業全般>

(委員)

○ 資料1のP.38に、下水道ビジョン2026の施策目標として「持続可能な下水道システムの構築」とあるが、下水道の整備を昭和5年から実施しているのであれば、今後は、改築更新が重要になってくると思うが、改築更新の計画はあるのか。

(道路下水道局)

● 本市では、福岡市下水道ストックマネジメント計画を策定し、改築更新事業の平準化を図っている。

【 結 論 】

<事後評価について>

事後評価は、適切に実施されたと判断する。

<今後の方針について>

方針に基づき、適切に推進すること。

令和元年度 事後評価対象事業

② 福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現（防災・安全）

<事後評価に関すること>

（委員）

- 指標③「重要な施設の地震対策実施率」について、評価値が目標値を上回った理由は何か。

（道路下水道局）

- 対象施設の耐震診断を行った結果、整備計画策定時点で想定していた以上に耐震性能を有する施設があったため、評価値が目標値を上回る結果になった。

（委員）

- 指標⑥「河川への雨水流出抑制に効果的な治水地の整備」について、治水地の貯留量という指標では、整備による効果がどのくらいあるのか分かりにくい。もっと分かりやすい指標にした方が良いのではないか。

（道路下水道局）

- 今後、より分かりやすい指標の設定について、検討していく。

（委員）

- 指標⑦「河川への雨水管理施設における長寿命化計画策定率」について、対象施設のうちの一部は施設自体の必要性について検討を行うため、未策定とのことだが、それらの施設を除くと、進捗はどのくらいになるのか。

（道路下水道局）

- 対象施設4箇所のうち、3箇所については策定済みである。なお、未策定の1箇所については、今回新設された施設であるが、その施設の完成時期に遅れが生じたことに伴い、長寿命化計画の策定が遅れているものである。

（委員）

- 指標の達成度が「△」となっているものについて、市民への影響はあるのか。

（道路下水道局）

- 当初予定していた事業の進捗が遅れが生じている点では、市民への影響がないとは言い切れない。今後は、市民の安全確保に向け、早急に事業の進捗を図っていく。

<事業全般>

(委員)

- 今後、都心部など現場条件が厳しい工事が増えていくとのことだが、目標値を設定する際には、そのような現場条件等も考慮することは可能か。

(道路下水道局)

- 可能である。

(委員)

- 事業の進捗が遅れているものについて、その要因は、予算の問題よりも地下埋設物等との調整や工事場所等の物理的な影響の方が大きいと考えてよいか。

(道路下水道局)

- 事業の進捗の遅れについては、予算の問題と物理的な影響の両方が要因と考えられるが、予算や現場条件等を踏まえ、適切な指標の設定に努めていく。

(委員)

- 受注者である中小企業においても働き方改革を実施していることから工期が伸びる可能性等があり、それが事業の進捗に影響を与えることも考えられるため、今後、事業計画を策定する際には、その点にも考慮されたい。

(道路下水道局)

- 承知した。

【 結 論 】

<事後評価について>

事後評価は、適切に実施されたと判断する。

<今後の方針について>

方針に基づき、適切に推進すること。

令和元年度 事後評価対象事業

③ 福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現（防災・安全）（重点計画）

＜事後評価に関すること＞

（委員）

○ 特に意見無し

【 結 論 】

＜事後評価について＞

事後評価は、適切に実施されたと判断する。

＜今後の方針について＞

方針に基づき、適切に推進すること。

④ 福岡市における良好な水環境の創造

＜事後評価に関すること＞

（委員）

○ 特に意見無し

【 結 論 】

＜事後評価について＞

事後評価は、適切に実施されたと判断する。

＜今後の方針について＞

方針に基づき、適切に推進すること。

令和元年度 事後評価対象事業

⑤ 風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡

<事後評価に関すること>

(委員)

- 指標①「福岡市域における緑の面積」について、みどりの面積が減っているということか。

(住宅都市局)

- 平成 27 年の当初と実績値を比べると、みどりの面積はわずかに減少しているが、最近 10 年間の緑被率の推移を踏まえると、ほぼ横ばいという認識である。具体的には、農地等が減少しているものの、公園等のみどりが増加している状況である。

(委員)

- 指標②「身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合」において、実績値が当初より下がっている理由として、人口流入が多い地域や、たまたま緑が少ない地域の市民にアンケートを取ったということは考えられるのか。

(住宅都市局)

- 市民アンケートの対象者は無作為で抽出されているため、地域の特性等が要因になっているかは不明である。

(委員)

- 指標②について、目標値を高く設定しすぎたのではないか。

(住宅都市局)

- 平成 21 年度に本市で策定した、緑の基本計画の中で定めた目標値を基に案分した設定となっている。

(委員)

- 指標②について、「身近な地域」という言葉があるが、どの範囲を一つの単位と考えているのか。

(住宅都市局)

- 小中学校区を一つの単位として捉えており、校区間の差が小さくなるような公園の適正な配置に努めている。

(委員)

- 指標②について、実績値が 30%であるが、実際の公園の配置などにばらつきがあるということか。

(住宅都市局)

- 現状として校区間のばらつきがあるため、校区間の差を小さくしようと取り組みを実施している。

(委員)

- 指標に市民アンケートの結果を用いることは、対象者や母数が一定でないため比較が難しいと思うが、指標の設定方法として適切なのか。

(住宅都市局)

- 現在でも、どのようなアウトカムを用いた指標が適切なのか模索しているところであり、引き続き、適切な指標の設定について検討していく。
- モデル地区のように、ある地域に限定して、継続的にアンケート調査を実施することも効果的であると思う。
- 参考にさせていただく。

(委員)

- 指標④「過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合」や指標⑤「鴻臚館等観光施設の年間利用者数」について、舞鶴公園でのイベント時に、むかし探訪館など市の施設へ誘導するような取り組みを実施すれば、施設の認知度も高くなっていくのではないか。

(住宅都市局)

- 参考にさせていただく。

【 結 論 】

<事後評価について>

事後評価は、適切に実施されたと判断する。

<今後の方針について>

方針に基づき、適切に推進すること。

令和元年度 事後評価対象事業

⑥ 国家的事業関連公園の整備

＜事後評価に関すること＞

（委員）

○ 特に意見無し

【 結 論 】

＜事後評価について＞

事後評価は、適切に実施されたと判断する。

⑦ 観光振興拠点公園の整備

＜事後評価に関すること＞

（委員）

○ 特に意見無し

【 結 論 】

＜事後評価について＞

事後評価は、適切に実施されたと判断する。

⑧ 安全・安心を支える緑づくり（防災・安全）

＜事後評価に関すること＞

（委員）

○ 特に意見無し

【 結 論 】

＜事後評価について＞

事後評価は、適切に実施されたと判断する。

＜今後の方針について＞

方針に基づき、適切に推進すること。

令和元年度 事後評価対象事業

⑨ 福岡市公園施設の長寿命化の推進（防災・安全）

<事後評価に関すること>

（委員）

- 指標①「地域の公園で子供が安心して遊べると感じている市民の割合」について、指標を市民アンケートの結果ではなく、改修率（長寿命化計画で改修が必要と判断した施設のうち、改修が完了した割合）などとした方が分かりやすいのではないか。

（住宅都市局）

- 長寿命化計画を策定しているが、施設の改修については、全て計画通りではなく、毎年実施している公園施設の点検結果なども加味した上で判断している。そのため、指標には、計画施設数ではなく市民アンケートの結果を用いているが、今後は、より分かりやすい指標の設定について検討していく。

（委員）

- 長寿命化事業は、迅速な対応をしている良い取り組みだと思うので、市民に対して積極的に情報発信していく方が良いと思う。

<事業全般>

（委員）

- みどりの資産効果を高めるために、舞鶴公園等の大規模な公園ではアクセスのしやすさが重要であると思うが、何か取り組みを行っているのか。

（住宅都市局）

- 大規模な公園においては、駐車場の整備や公共交通機関の利用促進に関する事業を実施している。

（委員）

- みどりの資産価値の向上を考えるのであれば、公共交通機関の利用促進やアクセス改善に関する事業も効果事例として提示して良いと思う。

（住宅都市局）

- 参考にさせていただく。

【 結 論 】

<事後評価について>

事後評価は、適切に実施されたと判断する。

<今後の方針について>

方針に基づき、適切に推進すること。